

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◇科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 39 時間)

担当教員 : 川内谷一志, 渋谷 武 (全クラス担当)

| 授業の概要 | | | |
|---|---|--|-------------|
| スポーツテスト (運動能力テスト, 体力診断テスト) を実施して, 個人の体力を把握させる。 実技種目では, 積極的, 意欲的な参加と活発的な活動を目指す。スポーツの実践を通じて, 責任感を持ち, 協調性のある行動がとれるようにする。スポーツマンシップについても十分な理解を促す。 | | | |
| 達成目標と評価方法 | | 大分高専目標 (A1) (B1), JABEE 目標 (a) (c) (g) | |
| (1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。(ゲーム) | | | |
| 回 | 授 業 項 目 | 内 容 | 理解度の自己点検 |
| 1, 2 | 1. 陸上競技 | ○3 年時に学習した走高跳を行い, 個々の記録測定を行う。 | 【理解の度合い】 |
| 3, 4 | 2. スポーツテスト | ○ {運動能力テスト (4 種目), 体力診断テスト (4 種目)} を正確に測定する。 | |
| 5-7 | 3. バレーボール | ○男女混合チームもあり, 3 年時よりさらに個人技能を生かしたゲームの展開と審判法の習得。 | |
| 8-11 | 4-1. ソフトボール・軟式野球 (男子) 4-2. ソフト (軟式) テニス (女子) | ○試合に重点を置いて指導する。交代で試合結果表 (スコア表) を記入する。 ○ダブルスのゲームを学習する。 | |
| 12, 13 | 5. 水泳 | ○クロール, 平泳ぎ, 横泳ぎ, 背泳の習得。 | |
| 14-16 | 6-1. 軟式野球 (男子) 6-2. 硬式テニス (女子) | ○個人の技能をさらに向上させ, 試合が楽しくできるようにする。試合結果表 (スコア表) を記録する。 ○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。 | 【理解の度合い】 |
| 17-20 | 7-1. サッカー (男子) 7-2. 卓球 (女子) | ○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。 ○個人技能の習得後, ダブルスのゲームを学習する。 | |
| 21-23 | 8. バasketボール | ○個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。 | |
| 24-26 | 9. バドミントン | ○男女共通の種目として行い, 個人技能を向上させ, ダブルスのゲームを学習する。 | |
| 履修上の注意 | | 授業は時間厳守とする。 | |
| 教科書 | | 高石昌弘, 小沢治夫ほか, 「現代保健体育」, 大修館書店。 | |
| 参考図書 | | 秋山兼範, 麻生紘二ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館書店。 | |
| 自学上の注意 | | 授業で行うスポーツのルールを調べておく。 | |
| 関連科目 | | 保健・体育 (3 年, 5 年) | |
| 総合評価 | | 達成目標の (1) と (2) について実技で評価する。 総合評価 = 授業で行った各種目の実技点の平均 総合評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。授業態度により, 評価点からその 20% を上限として減点を行う。 総合評価 60 点以上を合格とする。再試験は, 実施しない。 | |
| | | | 【総合評価】 点 |